

東と弁往來

第30回

流水の町ひまわり基金法律事務所



左から筆者、水島俊彦弁護士（法テラス佐渡）、原田宏一弁護士（紋別ひまわり基金法律事務所）。法テラス佐渡にて

旭川弁護士会会員

脇島 正 (60期)

2007年12月弁護士登録。東京弁護士会入会。同会では刑事弁護委員会に所属。
2011年12月に旭川弁護士会へ登録換え、現在に至る。

流水の町
ひまわり基金法律事務所
(北海道紋別市)

1. 流水の町ひまわり基金法律事務所について

流水の町ひまわり基金法律事務所は、2011年12月に北海道紋別市に設立されました。

設立当時、紋別市は全国で最後のワン地域で、そのため当事務所設立時には、ゼロワン解消ということでマスコミにも取り上げられ、また地元にも温かく迎えていただきました。

私は、2007年に弁護士登録し、池袋の東京パブリック法律事務所に在籍しておりましたが、元々は北海道の芦別市という、旭川から1時間ほどの小さな町の出身で、司法修習も旭川でした。

私自身、北海道にいた時は弁護士は縁遠い存在で、そうした経験から司法過疎問題に関心があり、ちょうど旭川管内の紋別市に第2公設事務所が設立されるということで赴任を希望しました。

2. 紋別市について

(1) 紋別市の概要

紋別市は、道東のオホーツク海に面する人口2万5000人の町です。

紋別市は、1989年に鉄道が廃止され、現在は市民の主な交通手段はバスと自家用車となっています。

近くの都市となると旭川市か北見市となりますが、大体旭川まで車で2時間30分ほど、北見までも2時間ほどを要します。旭川から紋別市に伸びるはずだった高速道路が、途中まで建設されたところで工事が

中止されており、この高速道の紋別までの延伸が紋別市民の悲願となっています。

一方で、紋別市には空港があり、東京羽田空港と一日一往復で結ばれています。そのため、東京へのアクセスは便利です。

(2) 紋別観光

紋別市は、何と言っても冬の流水と一年中楽しめる海の幸が目玉です。

私も、初めて流水が接岸し、海が一面真っ白になっているのを見た時は、感動しました。また、流水が接岸している時は、飛行機のパイロットが気を利かせて一度海の方にでて流水の上を旋回してくれる時もあり、空から一面の流水を見ることができた時はラッキーです。

また、海の幸は、蟹、雲丹、帆立、牡蠣と、一年中いろいろ楽しめます。

紋別には「はまなす通り」という酒場街があって飲食店が軒を連ね、人口2万5000人の小さな町にしては活気のある酒場街となっています。

こうした、一種独特の雰囲気からか映画の舞台となることも多く、一昨年は篠原涼子さんが主演の映画「アンフェア」の舞台にもなりました。

3. 紋別の裁判管轄

紋別市は、旭川地方裁判所紋別支部の管轄になります。

旭川地裁紋別支部は、紋別市、滝上町、興部町、雄武町、西興部村を管轄しており、管内人口は3万7000人ほどとなっています。

もっとも、紋別市に隣接する湧別町からは釧路地裁北見支部の管轄となり、そのため北見支部に提訴することも珍しくありません。

その他、旭川管内では支部で管財事件を扱っていないため、管財事件の申立人となった場合には債権者集会のために旭川本庁まで行くこととなります。

紋別に来たころは、10分の債権者集会のために往復5時間かけるのがばからしいと思ったこともありましたが、慣れというのは怖いもので、最近では、ちょっとした気晴らしにちょうどいいと思えるようになってきました。

4. 紋別市での活動について

(1) 無料相談会の実施

紋別市に赴任して、まず周辺自治体での無料相談会を実施しました。

私は、東京パブリック法律事務所にいた当時に、地域のセーフティーネットとしての法的駆け込み寺の重要性を身に染みて感じ、地方でも、毎月決まった週の決まった曜日に、あそこに行けば相談ができるという安心感を提供できないかと思い、これは是非実施してみたいと思っていたことでした。

しかし、周辺の4町村に毎月一人で定期的に無料相談を行うのは到底無理なことと思っていました。こうした話を紋別ひまわり基金法律事務所の原田宏一弁護士に話したところ、原田弁護士も同じ思いを持っておられ、是非無料相談会を実施しようということになりました。

そこで、ちょうど私の開所式に周辺自治体の首長がご出席されていたので、そのお礼とご挨拶がてら無料相談会の企画書を持参し、首長に直接実施を働きかけました。

交通費などの費用はすべて我々もちで、自治体には広報だけお願いするという形をとったのですが、最初はいつ

まで続くかという不安があったものの、最近では徐々に市民の皆さんにも浸透し、相談の予約も安定して入るようになり、また飛び込みでの相談もみられるようになりました。こうして地域に少しずつ根ざしているところを感じると、まだまだこれからも続けなければと思っています。

(2) そのほかの活動

今、紋別市では、市役所、社会福祉協議会、各介護事業所、市内の士業（弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士）が共同して成年後見利用についてのネットワークを作ろうと動き始めています。

紋別市に来てからの1年半を振り返ってみると、市民の方が市役所や保健所、法務局に相談に行っても、そこから弁護士に回ってこない、自治体の方々も弁護士に回そうということを思いつかない、そして結局相談者がどうしていいかわからずに埋もれてしまっていた、という案件をいくつも見てきました。

相談の窓口となる方に我々の存在を知ってもらい、我々のことを気軽に相談できる、使い勝手のいい存在と思っていたかなければならないと痛感しました。

そのため、まずはこの成年後見ネットワークを皮切りとして各機関との連携を深め、さらに輪を広げていくことがこれからの課題と思っています。

5. 紋別に赴任しての1年半を振り返って

早いもので紋別市に赴任して1年半が経ち、私の当初の任期の半分が過ぎました。

紋別市は、紋別ひまわり基金法律事務所の10年にわたる実績があるので、弁護士の存在は比較的身近に感じていただいていると思いますが、それでもまだまだ法律家への敷居が高く、また、いまだに紋別市内に法律事務所があることを知らなかったという方にも多く出会います。

まずは、残りの任期で一人でも多くの方に流水の町ひまわり基金法律事務所の存在を知っていただき、一つでも埋もれてしまい苦しんでいる方に手を差し伸べられるよう、地道に活動していきたいと思っています。



紋別市の全景



紋別市観光協会のキャラクター「紋太」と紋別市にあるモニュメントのかにの爪